



奈良県自閉症協会 NEWS

# きずな

No.294

2023  
Feb.

2

The Kiyuna

<https://www.eonet.ne.jp/~asn/>

発行人：関西障害者定期刊行物協会  
編集人：奈良県自閉症協会  
支部長&事務局：河村舟二  
〒639-1005  
大和郡山市矢田山町 84-10  
購読料1部 100円  
会員は会費に含まれています。



一九九六年五月一日第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

昨年12月21日にRSK山陽テレビ(岡山・香川エリア)で、ドキュメンタリー番組「メッセージ - 画家・石村義成を生んだ療育」が放映されました。あまりにも反響が大きかったため、2023年1月12日から2月11日までの一か月間TVerで全国配信されました。奈良県自閉症協会のメーリングリストに参加されていた方には「奈良県自閉症協会もお世話になっている河島純子先生の取り組みがわかるTBS系RSKの放送で、今なら見ることができます。特に学齢期のお子さんを持つ親御さんと学校の担任の先生には見ていただきたい内容です。放送後の反響が大きかったため、2月11日までTVerで配信されています。必要な方に拡散をお願いします。」というメールでお知らせはしましたが、TVerのソフトアプリをインストールされていないなど見逃された方もいらっしゃると思いますので、放送の概要を以下に掲載します。内容は愛媛県新居浜市にトモニ療育センターを立ち上げられた河島純子先生と相棒の心理士である高橋知恵子先生の取り組みです。トモニ療育センター主宰の河島じゅんこ先生は、小児科医であり息子さんが、自閉症だったことから、独自の療育体系を確立されたわが国のすばらしい先生であることは知る人は知るで、

その名は全国の親御さんたちに知れ渡っています。今回の放送では河島純子先生の療育の内容が分かりやすくまとめられていました。放送内容は次のようなものでした。…岡山県出身の療育家・河島淳子さんです。河島さんは自閉症の我が子を育てた経験を世に役立てたいと愛媛県新居浜市にトモニ療育センターを開設しました。色彩豊かな動物の絵画で人

## 画家・石村義成を生んだ療育

気を博す石村嘉成さん(愛媛県新居浜市在住)は、自閉症の障害と向き合いながら才能を開花させました。彼は如何なる療育に導かれ、現在の姿を手に入れたのでしょうか。「泣かさないように、やさしく寄り添って育ててください」それまでに頼った療育施設で繰り返し聞かされた言葉に覚えた違和感…。石村さんの両親がトモニ療育センターを訪れたのは嘉成さんが2歳のときでした。所長の河島淳子さんは「子の“泣き”に振り回されて親が子に支配されてはいけない。親が子をリードする」「知識ある愛をもって療育を行えば障害は改善する」「叱らない、機嫌をとらない、必要なことは譲らずにさせてゆく」指針を示し、療育に取り組む覚悟を親に求めました。やがて、母・有希子さんは毅然と子に

向き合う療育者となり、嘉成さんも応えようと努力しました。河島さんの療育は自閉症の我が子を育てた実体験に基づいています。笠岡市に生まれ、朝日高校から岡山大学医学部に進み、小児科医になった河島さん。結婚し子宝にも恵まれましたが、仕事に追われ子育てが後回しになったと悔い、3人目の子を身ごもった時、育児を優先することを決めました。生まれてきた高浩さんが自閉症でした。河島さんは医師の職を捨て、残りの人生を高浩さんの療育に捧げる決心をしました。ひ弱と見るや連日のように2人で山を歩いて体力を付けさせ、手作りの教材を使って知識を付け脳の活性化をうながし、洋裁を学ばせて手に職もつけました。その経験を、自閉症児を育てる親に生かしてもらいたいと創設したのがトモニ療育センターです。番組では、トモニの療育で壁を乗り越え、世界で活躍するパラ・アスリートになった山本萌恵子さん、新たにトモニでの療育が始まった母子をはじめ、河島さんの療育の世界を生きる人々を追います。(以上RSK番組紹介より)このような河島先生の育児と教育についての考え方や療育法はインターネットでも拾うことができますので、いちど検索してみてください。(河村)

### 日本自閉症協会からのお願い

行動障害で入院治療された方のご意見を求めています。  
下記が入力フォームです。（入力は簡単にできます）スマホでも可能です。

<https://forms.gle/ai351ZLWW2ATHC9w5>

ただし、対象者は強度行動障害でかつそのために入院治療（服薬調整含む）をしたケースとなります。ご意見は厚労科研成果に織り込まれ、今後の精神科医療に反映されます。どうぞよろしくをお願いします。



### 強度行動障害児者の入院医療アンケート～保護者の立場から（期限：2月25日）

市川宏伸（日本自閉症協会会長）

強度行動障害については、福祉においても、教育においても、医療においても、決め手がない状態が続いています。医療関係者の間でも、この現状に対する反省から、昨年に強度行動障害医療研究会が立ち上がりました。そこで、強度行動障害児者への入院医療について、保護者の不満や期待などをアンケートで調査を行いたいと考えました。この調査の結果は厚労科研報告書に記載予定です。

プライバシーについては十分に配慮します。

強度行動障害児者へのより良い対応のためにご協力をお願いします。

ご協力いただいた方で希望される方には謝礼カードをお送りします。

対象は強度行動障害児者で、行動上の治療ために入院医療をした人、または、入院を希望したが入院できなかった人です。（服薬調整入院含む）

- ・強度行動障害でない人は対象外です。
- ・入院理由がケガや他の病気の場合も対象外です。

複数回入院した場合は、もっとも大変な時の場合を記入してください。

ご回答は、ご家族、支援員、ご本人でも構いません。会員でなくても結構です。

回答期限：2月25日

回答方法3種類：次のどれかをお願いします。

1. 推奨：下の URL または QR コードからネットで回答。（スマホでできます）

<https://forms.gle/ai351ZLWW2ATHC9w5>



2. 2頁以降の文書（Word）に記入し、メール添付で送付ください。

メールアドレス [asj@autism.or.jp](mailto:asj@autism.or.jp)

3. 2頁以降の文書を印刷し、記入後に郵送または FAX でご返送ください。

送料は自費になります。申し訳ありません。

送付先は最後に記載しています。

## JD 2022年度特別セミナー

国連・障害者権利委員会の「総括所見(勧告)」を学び、知り尽くそう！  
— 障害者権利条約にふさわしい施策の実現を求めて —

国連・障害者権利委員会は、昨年8月22日・23日、障害者権利条約にかかわる初の対日審査を行い、9月9日に日本政府に対する「総括所見(勧告)」を公表しました。この「総括所見(勧告)」をどのように受け止め、今後の運動に活かすのか、障害者権利条約にふさわしい施策の実現を求める私たちの運動にとって、重要な課題になっています。

今回の特別セミナーでは、第1部

で「総括所見をどう読むのか」、第2部で「各現場・当事者は総括所見をどう受け止めているのか」、そして第3部で「他分野の運動経験に学び、運動課題を共有する」の3部構成で企画しました。一人でも多くの方々の参加を呼びかけます。

日時／2023年3月11日(土)  
10:30～16:30

方法／オンライン開催(ZOOM)  
見逃し配信あります

定員／500名

第1部：基調講演 10:30～

国連・障害者権利委員会の「総括所見(勧告)」をどう読むのか！

講師／佐藤久夫さん(日本社会事業大学名誉教授・JD理事)

第2部：福祉現場・当事者からのリ

レートーク 13:00～  
各現場・当事者は「総括所見(勧告)」をどう受け止めているのか！

①グループホーム(日本グループホーム学会・荒井隆一さん)

②入所施設(大阪障害者センター・塩見洋介さん)

③福祉的就労(ゼンコロ・中村敏彦さん)

④精神障害(精神障害当事者会ポルケ・山田悠平さん)

コーディネーター／赤松英知さん(きょうされん常務理事)

第3部：運動課題の共有 14:40～  
権利条約にふさわしい施策の実現を求めて！

— 他分野の運動経験に学ぶ

①女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約

報告者／林 陽子さん(弁護士・国

連女子差別撤廃委員会委員長 2015年～2017年)

②子どもの権利条約 児童の権利に関する条約

報告者／小泉広子さん(桜美林大学教授)

③日本弁護士連合会・人権擁護委員会

報告者／藤原精吾さん(弁護士)

■参加費(資料代)：3000円、学生または障害がある方は1500円

■手話通訳・要約筆記・点字資料あり(要約版)

お申込みフォーム

<https://forms.gle/HfpFkPoPAtdtLDUQ7>

※申込みの詳細は、以下(チラシ裏面相当)をご覧ください。

お申込み詳細

JD 2022年度特別セミナー(2023年3月11日開催)

FAX 送信先 03-5287-2347(JD事務局)

申し込み用紙にご記入の上、FAX・Eメールにてお送りください。

■参加費(資料代)：3000円、学生または障害がある方は1500円

以下の口座に3月8日までにご送金ください(遅れる場合はご一報ください)。

・送金手数料はご負担をお願いします。

・ご欠席時の払戻しは致しませんのでご了承ください。

◎郵便振替口座 00120 - 2 - 70876

◎ゆうちょ銀行(当座)〇一九(ゼロイチキョウ)店 70876

※上記2つの口座名義はいずれも日本障害者協議会

◎巢鴨信用金庫 早稲田支店(普) 3116627

口座名義 トクヒ)ニホンショウガイシャキョウギカイ

お申し込み用紙

申し込み日 月 日

資料代 障害者・学生(※資料代確認のため該当する場合は〇で囲んでください)

お名前(ふりがな)

所属団体(ある場合)

メールアドレス

住所 〒 -

<p>携帯番号</p> <p>■障害の理由で必要な方は○で囲んでください。</p> <p>手話通訳・要約筆記・点字資料(要約版)・テキストデータ</p> <p>お申込み・お問合せ 認定NPO 法人日本障害者協議会(JD)</p> <p>〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1 Eメール office@jdnet.gr.jp TEL03-5287-2346 FAX03-5287-2347</p>	<p><b>世界自閉症啓発デー 2023 応援メッセージのお願い</b></p> <p>世界自閉症啓発デー日本実行委員会 委員長 市川 宏伸</p> <p>拝啓時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。</p> <p>私たち世界自閉症啓発デー・日本実行委員会は、厚生労働省と日本自閉症協会を中心に全国的な関係団体や関係機関が参加し、国連の定めた世界自閉症啓発デー(4月2日)や、当実行委員会で定めた発達障害啓発週間(4月2～8日)の啓発イベントを企画・実施している組織です。現在、令和5年4月の啓発イベントを準備しています。</p> <p>【御依頼の趣旨】</p> <p>さて、これらの啓発イベントは、自閉症をはじめとする発達障害についての知識を広く国民に紹介するとともに、発達障害の特性のある当事者</p>	<p>や家族に対するエールを送ることも重要な目的となっています。そこで、当実行委員会では公式ホームページ(*)に自由にエールを投稿していただけるサイトを設けるとともに、様々な分野でご活躍されている方に対して実行委員から個人的にエールをお願いする取り組みを例年行っているところです。</p> <p>お寄せいただいたエールは、公式ホームページへの掲載を予定しています。</p> <p>* 公式HP <a href="http://www.worldautismawarenessday.jp/">http://www.worldautismawarenessday.jp/</a></p> <p>本イベントにご協力いただける場合には、裏面の記入要領をご一読いただき「発達障害のある人とその家族への応援メッセージ」をお寄せいただきますようお願いいたします。メッセージは依頼した者へ令和5年3月20日(月)までにお渡しください</p>
<p>い。お預かりしたメッセージは依頼した者を通し日本実行委員会へ提出させていただきます。</p> <p>お問い合わせ先 電話：03-3545-3380、FAX：03-3545-3381 Mail：asj@autism.or.jp 〒104-0044 東京都中央区明石町6-22 築地ニッコンビル6F 一般社団法人 日本自閉症協会 事務局</p> <p>&lt;記入要領&gt;</p> <p>1 添付の様式を用いて、できるだけ自筆でお書き下さい。</p> <p>2 枠内には「応援メッセージ」と「お名前(お立場の分かる添え書き)」</p>	<p>をお書き下さい。</p> <p>&lt;応援メッセージの例&gt;</p> <p>「きみがいなけりゃ、つまらない。」</p> <p>「忘れないで、あなたの後ろに応援団がいることを。」</p> <p>3 内容に不適切な点があると日本実行委員会が判断した場合は、ご紹介</p>	<p>できない場合がありますので、ご承知おき下さいますようお願いいたします。</p>





## 毎年4月2日は世界自閉症啓発デーです



今年も“大和郡山市お城まつり”でブルーライトアップが実施されます

◎今年も大和郡山市の全面ご協力を得て、4月2日午後6時～8時、大和郡山城跡にてライトアップブルーを実施いただけることとなりました。日本の桜の名所百景にあげられる大和郡山城跡の美しい夜桜と、自閉症・発達障害理解の願いのこもったブルーライトアップの点灯の瞬間を、青いものを身に付けて一緒に迎えませんか？  
当会内外の自閉症・発達障害関連の活動されている方々のPRやチラシなども受け付けます。

◎当日、お城まつり会場にて、世界自閉症啓発デーおよびライトアップブルーのご紹介のアナウンスをしてくださる方を大募集しております。当事者・ご家族・支援者のみなさま、会員に関わらず、是非ご自身の声を桜咲く春の夜空にお届けください！

◎活動PRや場内アナウンスご協力いただける方は、下記のいずれかでご連絡願います

- ・ホームページ「NPO法人奈良県自閉症協会」のお問い合わせフォームから
- ・メールにて：kawafune@ares.eonet.ne.jp まで
- ・face book：「奈良県自閉症協会」または「Light It Up Blue Nara」へのコメントにて

①お名前

②参加内容（アナウンス・PR・チラシ配布や掲示）

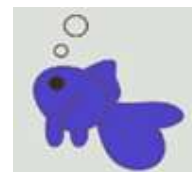
③ご連絡先（メールアドレス・当日ご連絡のつく携帯電話番号）をお知らせください。

◎当日の集合時間・場所

2022年4月2日（土）午後5時45分（ライトアップは午後6～8時）

大和郡山市お城まつり・柳澤神社東側特設ブース

世界とつながる青い夜空のもと、理解の輪を広げていきましょう！



令和5年1月

## 世界自閉症啓発デー2023 作品展募集要項

世界自閉症啓発デー日本実行委員会  
委員長 市川 宏伸

### 1 世界自閉症啓発デー2023作品展への出展作品の募集について

世界自閉症啓発デー日本実行委員会では、毎年4月の世界自閉症啓発デーや発達障害啓発週間に、国民の皆様が自閉症など発達障害について正しい理解を深めていただくために、当事者が制作した絵画等の作品や制作エピソード等を公式ウェブサイトや公式SNSを通じて広く発信しております。

2023年においても、公式ウェブサイト上で作品展を開催する運びとなりました。ついては、下記の要領にて出展作品を募ります。たくさんの作品の応募をお待ちしております。

### 2 募集要領

- (1) 自閉症をはじめとする発達障害のある方の作品とする
- (2) 作品タイトル、作者名、所属団体、制作エピソード等を所定の応募用紙に記入し添付する
- (3) 団体ごとで取りまとめて世界自閉症啓発デー2023 日本実行委員会の参加団体を通じて応募、または、作品受付窓口まで直接送付する
- (4) 応募期限は2023年2月24日（金）までとする（作品受付窓口への提出期限）

### 3 応募に際しての留意点

- ◆ 絵画、版画、切り絵、陶芸、工作等種別は問いません。**現物ではなく、写真データでの応募となります。**写真データを保存した記録媒体（CD-R等）または電子メールで送付してください。また、作品タイトルと作者名を必ず記載して下さい。
- ◆ カメラの解像度は指定いたしません、できるだけ解像度の高いものにしてください。
- ◆ 平面作品は歪まないように、立体作品は特徴がよくわかるように撮影してください。
- ◆ ファイル形式は JPEG（推奨）、BMP、PNG等として下さい。**PDFは不可とします。**
- ◆ 応募いただいた写真データの著作権は世界自閉症啓発デー2023 実行委員会に帰属し、公式サイトへの掲載や公式SNSのメッセージへの添付等で使用します。また、「世界自閉症啓発デー2023」等の文字挿入などの補作やポスターやリーフレットへの転載をする場合があります。
- ◆ ウェブページに掲載された作品の色調は、実物のものと異なる場合がありますのでご容赦ください。
- ◆ 作品が自閉症や発達障害の啓発という趣旨に沿わない場合、実行委員会において判断し、掲載しない場合があります。
- ◆ 送付いただいた写真データ等は返却いたしません。何点かまとめて送付する場合は、写真データ名と作品タイトルを同じにしてください。
- ◆ 上記、目的以外での複製や二次利用等はいたしません。
- ◆ 応募作品は作者（グループ）のオリジナル作品であり、著作権の侵害にあたるような作品のご応募はご遠慮ください。
- ◆ 個人、同じ共同制作グループからの応募は3点までとさせていただきます。また、ご応募いただいた作品すべては掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 作品展応募用紙

作品タイトル

所属団体名

作者名（ニックネームや複数人での共同制作の場合はチーム名等でも可）

SNSでの作者名の掲載  
(いずれかに○印)

諾 ・ 否

制作エピソードや作品に込めた作者の思い

※作品写真に作品名、作者名、エピソードを添えてSNSで発信します。エピソードは**100文字以内**にしてください。

令和5年2月

日本発達障害ネットワーク会員団体各位

中京大学 現代社会学部

辻井 正次

## 「療育手帳の交付判定に関する評価手法の開発のための研究」

ご協力をお願い

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

現在、厚生労働省科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）において、「療育手帳の交付判定及び知的障害に関する専門的な支援等に資する知的能力・適応行動の評価手法の開発のための研究（22GC1401）」を進めております。この度、療育手帳を交付されている子ども（3歳～18歳）を対象として、調査を実施することになりました。ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、以下の調査内容をご理解いただき、本研究へのご協力（周知および調査協力者のご紹介）をお願い申し上げます。

敬白

### 本研究の目的

子ども（18歳以下）を対象とした開発中の知能検査と既存の知能検査（ウェクスラー式知能検査）を並行して行い、開発中の知能検査の妥当性の確認を行うこと。

背景 現在、我が国における療育手帳の交付基準は、各都道府県および政令指定都市で異なっており、その弊害が長年指摘されています。本研究は、国内の療育手帳判定基準の統一化に向けて、国際的な知的障害の診断基準に準拠する判定のあり方を検討することを最終的な目的としています。

調査の詳細は別紙をご参照ください。





## 「療育手帳の交付判定に関する評価手法の開発のための研究」参加申込用紙

必要事項をご記入いただき、本用紙を添付して指定のアドレスにお送りください。

件名を「療育手帳調査協力」としてください。いただいた情報は本研究のみに使用します。

## 1. 調査にご参加いただく保護者について

1. お名前・続柄		母・父・ほか [ ]
2. 連絡先 メールアドレス		@ 調査実施の日時調整を行う際に必要です。お間違えのないようご記入ください。
3. 携帯電話番号	—	—

## 2. ご本人（療育手帳が交付されており、知的障害のあるお子様）について

1. お名前	
2. 性別	男・女
3. 生年月日	西暦 20____年 ____月 ____日
4. 年齢	現在 ____歳 ____ヶ月
5. 学年 選択し、小学生以上は学年を記入	未満児・年少・年中・年長 / 小・中・高 ____年生
6-1. 過去 3 ヶ月以内にウェクスラー式知能検査（WPPSI, WISC, WAIS）を受けましたか？（選択）	はい・いいえ ↓ 〔 WPPSI ・ WISC ・ WAIS 〕を受けた。 受けた時期：20 ____年 ____月
6-2. 上記の検査結果は手元にあり提供可能ですか？	はい・いいえ

## 3. 調査実施日および場所の希望

1. 希望日のおおよその日程（選択） できるだけたくさんご選択ください。	1月前半の土日祝日 ・ 1月後半の土日祝日 ・ 1月中の平日 2月前半の土日祝日 ・ 2月後半の土日祝日 ・ 2月中の平日 3月前半の土日祝日 ・ 3月後半の土日祝日 ・ 3月中の平日 3月後半の春休み期間中 ・ いつでもよい
2. 場所（選択）	東京 ・ 神戸（もしくは大阪） ・ 名古屋

※ 調査の実施日時は担当者より後日ご連絡・ご相談のうえ、決定いたします。

※ 申込後、1週間経っても連絡が来ない場合（年末年始を除く）、アドレスの間違い等、なんらかのトラブルが想定されます。その場合、お手数ですが、再度下記までメールをいただくと助かります。

送付先メールアドレス [chukyo.tj.lab@gmail.com](mailto:chukyo.tj.lab@gmail.com)

# 発達障害のご本人・ご家族の皆さまへ 「情報検索ツール」作成に向けたアンケート協力のお願い

国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター

## アンケートの目的について

現在、発達障害情報・支援センターでは、発達障害のある方やその家族向けの「情報検索ツール」を作成中です。ご本人やご家族ができるだけわかりやすく、必要な情報にアクセスしやすくなることを目指して、作成準備をすすめているところです。

このアンケートは、作成中の「情報検索ツール」が使いやすいものになっているかどうか、ご本人・ご家族からのご意見をきかせていただくために実施するものです。

アンケートの結果は、より良い「情報検索ツール」を完成させるための参考資料とさせていただきます。

## アンケート実施の流れについて

1. はじめに、【ご本人・家族向け】「情報検索ツール」の試作版をご確認ください。

こちらの URL をクリック ➡ <http://18.176.99.237/libraries2/>

または、下の【QRコード①】を読み取ってください。

※試作版ではスマホに対応していないため、できるだけ横長の大きい画面(PC やタブレットなど)でご覧ください。

2. 次に、試作版についてのアンケートにお答えください。質問は全部で8問です。

こちらの URL をクリック ➡ <https://forms.gle/cWqvGmwyMgTwAZR79>

または、下の【QRコード②】を読み取ってください。



【QRコード①: 情報検索ツール】



【QRコード②: アンケート】

・アンケートの回答内容は、個人が特定できない情報として統計的に処理します。上記の目的以外には使いません。

・アンケート回答期日: **2023年3月3日(金)**

多くの皆さまにアンケートへご協力いただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

### 【問合せ先】

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部

発達障害情報・支援センター

担当: 与那城 ( [hattatu-isc@rehab.go.jp](mailto:hattatu-isc@rehab.go.jp) )

## ” 西和養護学校高等部の皆さま いつもありがとう！ ”

**奈**良県立西和養護学校高等部「流通」の授業のなかで、本誌「きずな」の発送作業に取り組みご協力をいただきようになって、今年の春には10年目になります。いつも大変丁寧に取り組んでいただいております。心より感謝しております。この度、授業参観させていただき、ご指導くださる先生がたの工夫にあふれるご指導、生徒の皆さんの実直で柔軟なご様子に感激しました。

先生手作りのジグ、作業目標の明確提示（見通しや達成部数）、作業空間の構造化された配置。コロナ対策で密にならない工夫もあり、臨機応変に生徒の皆さんが作業場所も移動しながらも手の動きや作業の流れを止めず、出来栄をセルフチェック。作業中、私語は全く聞こえてきませんでした。そして都度、先生への仕上りの報告 & チェックを求め、先生方も一人ずつ、一回ずつOKを返し、何かわからないことは先生の指示を仰ぐ。その姿は、社会に出る即戦力になるスキルです。何度も何度も繰り返し、ホウ（報告）レン（連絡）ソウ（相談）」の訓練を授業のなかですること、発言もスムーズにできておられました。素晴らしい！ブラボーです！！



「できました！」「はいOKです！」

「経過時間の視覚化」

「ページ順の確認・角を揃え折る」

『封筒の折り目の切り落とし作業』『印刷物をページ順に取り2つ折りの冊子にする』『封入できるよう冊子を3つ折りにする』『封筒に入れ折り目をセロハンテープで止める』『封筒の番号順を確認し10通ごとに輪ゴムで止める』の作業行程を、3グループに分かれて異なる日程で取り組んでいただいているのですが、どのグループもどの作業でも問題なく取り組むことができているそうです。柔軟さも実践的です！

生徒の皆さんに、「大変なことや、困ったことはないですか？」と何うと「貴方がた（当会事務局）のほうが大変です」(笑)とねぎらっていただきました！「印刷物がつるつるして取りづらい」「ページ数が多い月(工数もチェックページも増えて)は大変」というご意見もいただきました！ご苦労をおかけします <m( )m> 感謝

達成感と生き生きとした楽しさの伝わる授業参観、本当にありがとうございました。

これからも、先生方と一緒に、その柔軟さと明るさで、楽しいことをいっぱい経験していきましょう！！

(湯浅)

## 川西町LD研究会 主催

### ～ 発達障がい理解講座 ～

#### 「分身ロボット」で緩やかに外の世界へ



令和5年3月11日(土曜日)

講師 吉藤行二氏

受付：13:00～ 開演13:30～

場所：川西文化会館 サークル室ABC

参加費：無料

定員：30名(定員に達し次第 締め切ります)

申し込み受付：2月20日より 3月8日まで  
申し込み専用メール

: [kawanisi-ld@iris.eonet.ne.jp](mailto:kawanisi-ld@iris.eonet.ne.jp)

#### 吉藤行二氏のプロフィール

小学校、中学校の教員を経て奈良県教育委員会よりの派遣で、葛城市コミュニティセンター勤務その後奈良県立野外活動センター勤務後、中学校教頭、小学校校長を最後に定年退職。退職後は、初任者指導教員や小中学校教員として活躍中。 ロボット研究者 吉藤オリイさんの父親

吉藤オリイさんのプロフィール 本名：吉藤健太郎さん 株式会社オリイ研究所代表取締役  
自分自身がその場に居なくとも、その場に居るような感覚を味わい孤独を感じないようにするもう一つの自分。分身を作ることを目指しました。大学時代でロボットのプロトタイプを完成させ、さまざまなコンテストに出場し賛同者を得て会社を設立し、現在に至ります。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、申込時に氏名、住所、連絡先等をご記入いただいた内容につきましては、必要に応じて保健所等から提出を求められる場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



#### 申し込み専用メール

: [kawanisi-ld@iris.eonet.ne.jp](mailto:kawanisi-ld@iris.eonet.ne.jp)

住所 氏名

連絡先

(電話番号を明記)

申し込みを受け付けた方には、確認メールを送ります。

確認メールが3日以内に届かない場合は下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先：川西町LD研究会 事務局 松村  
TEL 0745-43-0257 FAX 0745-43-0119

後援：川西町教育委員会 / 川西町社会福祉協議会

三宅町教育委員会 / 田原本町教育委員会

協力：川西発達支援の会 / 放課後等デイサービス ステップゆず



発行人：関西障害者定期刊行物協会

住所：〒543-0015

大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル4F

編集人：奈良県自閉症協会

定価：100円